



平成 27 年 7 月 8 日（水）南木曾町立南木曾小学校にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」 「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を行っています。名城大学の元教授 岡本光美先生、南木曾町立南木曾小学校の校長 勝野忠先生、教頭 古瀬美江子先生のご尽力により、平成 27 年 7 月 8 日（水）、南木曾町立南木曾小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容にて開催しました。当日は、小学生 67 名（5 年生:43 名、6 年生:24 名）、保護者 18 名が参加し、授業と体験実験は、とても楽しく学べたと大好評でした。

南木曾町立南木曾小学校における「くすり教室」

日時：平成 27 年 7 月 8 日（水）9 時 20 分～11 時 30 分

場所：南木曾町立南木曾小学校 多目的室

内容

・「実験を始める前のお話」：Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。名城大学薬学部の薬学生がスライドを使ってわかりやすく説明し、多くの小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

小学生は 12 グループ（1 グループ 5～6 名）に分かれ、内容をより理解できるように、NPO J-DO の理事長 鍋島俊隆先生、理事 間宮隆吉先生、会員 毛利彰宏先生、岡本光美先生、名城大学薬学部の大学院生、学部生が補助しながら、体験実験を行いました。また、保護者も児童とは別のグループで体験実験を行いました。

＜実験項目＞

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ 1 ばいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲める錠剤があることを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるのだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあることを知ってる？
6. シロップのくすりとお茶を一緒に飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなるかな？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I
（三宅裕里子、毛利彰宏、野田幸裕）
・薬品作用学（間宮隆吉）
監修：名城大学薬学部
NPO J-DO（鍋島俊隆）

